

決意表明

はじめに

本日、無事、市川市議会議員選挙への立候補の届出を完了することが出来ました。

少し長い文章になりますが、市川市議会議員4期目へ向け率直な思いを述べさせていただきますので、どうぞよろしく願いいたします。

無駄遣いや不祥事を追及した理由

私は、この4年間は税金の無駄遣いや行政による不祥事を追及することが多くなってしまったというか、多くならざるを得ませんでした。

前市政において、「高級公用車テスラ」や「市長室のガラス張りのシャワールーム」、これらは全国的な問題に発展しましたが、この他にも1億5千万円もかけて無駄な階段工事を追加したり…、訳の分からない備品購入や無駄な工事をたくさんやったり…、挙句の果てには前市長の関係者が逮捕され、市役所の職員が事情聴取を受けたり、資料が押収されたり…と、さまざまな無駄遣いや不祥事がありました。

正直に申し上げますと、私はこうした税金の無駄遣いやさまざまな不祥事の追及をやりたくて市議会議員を務めている訳ではありません。たまに、「よくやった!」「よくぞ代弁してくれた!」と、褒められる場合もありますが、「あなたは人の足ばかり引っ張って…」「他にやることがないのか!」などといった批判もセットで付いてきます。

政治家業は人気商売の側面もありますから、人の足を引っ張っているようなイメージでは見られたくはありませんし、権力者を敵に回して身を危険に晒すようなことを好き好んでやりたいわけではありません。

本来であれば、市川市の未来について語りたい、どうすればこの街から水害をなくすることができるのか、どうすれば子どもたちや若い女性の貧困をなくせるのか、どうすればお年寄りが生活の心配をすることなく健康に生きられるのか…。自治会をはじめとする地域のコミュニティを守り、安全に安心に暮らしていけるのか…。そんな、本質的に議論すべきことに専念できる方が精神的にも楽でしょうし、日々を前向きに過ごせるのだと思います。

ただ、こうした本質的な議論をすると、役所は判で押したように、「予算がない…」「財源が…」などと言った答弁を繰り返すことが多々ありました。そこで、私は無駄な支出を見つけては指摘することで、「こんな無駄遣いするぐらいなら、別のところに予算を充てられるでしょう!」と、自ら財源を示して参りました。これが無駄遣いを追及するに至った理由の1つです。

もう1つ、無駄遣いを追及した理由は私の職業とも関係します。私は、米国公認会計士として、監査や経営コンサルティングの仕事に従事して参りました。そして、この仕事はいまも続けています。

https://www.tac-school.co.jp/tacnewsweb/feature/feat201912_1.html

例えば、お医者さんであれば、患者さんの表情を見ただけで「いつもと違うな…」と、一般の人では気が付かない体調の変化に気づける場合があるのだと思いますが、不詳私も職業柄、さまざまな資料を

見たり、説明を聞いたりするだけで、どこかポイントとなるのか、どのようなリスクが潜在するのか、この施策が当初説明通りに進んでいるのかどうかについては、一般的な人よりは勘所が働くのだと思います。つまり、税金の無駄遣いや不祥事などについては、仮に他の議員が気づかなかったとしても、私は気づく場合が多いと密かに自負しております。

そうなる、私にとっては二者択一の選択を迫られます。税金の無駄遣いや不祥事などについて見て見ぬフリするか、それとも、追及すべきは追及しようとするのか…。

結論としては、「義を見てせざるは勇無きなり」「知行合一」ということで、私は自分の信念や考え方、皆さまがどう考えるかといったお気持ちなども斟酌した上で、追及すべきは追及しよう！と、数々の問題追及を行ってきたのが、この4年間であり、私の3期12年間でした。

反撃と嫌がらせ

ただ、権力者の税金の無駄遣いや他の議員の不祥事を追及すると、こちらに対する反撃や嫌がらせがほぼセットで身に降りかかってくる。

実際にご覧になられた方も多いかと思いますが、「パワハラでっち上げ」という事案では、村越前市長によって、事実に基づかない内容が全国ネットでテレビでも新聞でも報道されました。見ず知らずの人から、「議員の資質がない！」「議員を辞めろ！」などといったメールが届くこともありました。

https://news.tv-asahi.co.jp/news_society/articles/000288218.html

また、皆さんがご存じないところでは、おそらく私がその議員の不祥事を追及したことで逆恨みされているのだと思いますが、「市役所の女性職員にわいせつなことをした」であるとか、「市長選挙で500万円もらった」、「生活保護費を不正受給している」などと、自分の住んでいるマンションをはじめ市内各地に怪文書を撒かれる被害を受けました。

この他にも、出鱈目な理由を付けられて、名誉棄損だの、公職選挙法違反だのと裁判を提訴されたり、警察や検察に刑事告発され、取り調べを受けたこともありました。

もちろん、それらは事実に基づかない、客観的な証拠もない単なる嫌がらせでありますので、私は何事もなく今こうして無事立候補できた訳ですが、私が議会で追及していけば、相手方は政治生命のピンチに追い込まれる訳ですから、卑怯な手を使うことなど全く意に介さずに反撃の手を繰り出してくるといった感じです。

ただ、私は自らの使命と役割を果たすために政治家になった訳であって、「敵を作らず上手く立ち回る」ことや、「見て見ぬフリをする」ために議員になった訳ではありません。

そこで、覚悟を決めて、腹をくくって、こうした反撃と嫌がらせにもひるむことなく、淡々とやるべきことに邁進して参りました。

市長は代わった

確かに市長は交代しました。しかし、それだけですべての問題が解決するのでしょうか？

市役所には20を超える部署があって、正規職員だけでも3,000名を超える職員がいます。市長が代わったからと言って、これらがすべて上手くいくなんで、話はそう簡単じゃないことは皆さんもご想像できることかと思えます。

そして実際に、市川市でも入札妨害事件に関連して職員が取り調べを受けたり、中学校の先生が

女子トイレを盗撮して逮捕されたり…といった問題が、皆さんのあまり知らないところでも度々発生しております。

また、他市の事例では、夫からのDVがあって女性が避難しているにもかかわらず、その女性の住所情報を教えてしまうといった個人情報の漏洩事案が発生していたり、市民との間におけるお金のやり取りで預かったお金を横領したりといった事案が発生していますが、こうした問題が市川市では絶対に起こらない保証はありません。

だとすると、市長が代わったからといってそれだけで無条件に安心するのではなく、市民生活を守っていくためには、市政をしっかりとチェックしていく機能がとても重要であり、私は引き続き市議会の先頭に立って市政の状況に目を光らせていかなければならないと気を引き締めております。

もし当選することができたら…

ところで、皆さんは「ICHICO」という市川市がいま取り組んでいるデジタル地域通貨というものをご存じでしょうか？ スマートフォンや専用カードを利用するキャッシュレス決済で、これは田中市長の選挙公約に基づく施策なのですが、おそらく多くの方がご存じないかと思います。目下、申込受付中ですが、実際に申し込まれた方はいらっしゃいますでしょうか？

実はこの「ICHICO」というキャッシュレス決済に、既に予算ベースでは約6億円、市の持ち出し分だけでも2億円超が充てられています。そして、この事業が皆さんのよく分からないところで、膨大な無駄遣いに発展してしまうことを私は危惧しております。

田中市長は前市長と違って、分かり易い「悪いこと」はしないのだと思いますが、3年後には市長選挙が控えている訳ですから、田中市長も「私はこの4年間でこれをやりました、公約を実現しました！」などと、実績を作りたい気持ちが強いはずですし、私も選挙に臨む政治家である以上、そうした思いそのものは理解できます。

ただ、ここに落とし穴と言いますか、私たち市議会議員がしっかりとチェックの目を光らせていかなければならないポイントが潜んでいるのです。

今申し上げました、この「ICHICO」というキャッシュレス決済は、この5月から八幡地区で実証実験が行われるのですが、実績を残したい市長からすれば、まずはこの実証実験を成功させたいでしょうし、市内全域に広げていきたい思惑が当然あります。

しかしながら、「ICHICO」という新しいキャッシュレス決済が導入されたからと言って、それをきっかけにキャッシュレス決済を始める方がどの程度いるのでしょうか？

もう既にキャッシュレス決済に慣れている人であれば、既にスイカやPayPayを使っている訳ですからわざわざ「ICHICO」という市川市限定のキャッシュレス決済を使わないかもしれません。また、逆にキャッシュレス決済慣れていない人がこれをきっかけに「ICHICO」という市川でしか使えない、それも一部のお店でしか使えないキャッシュレス決済を使い始めるということも、なかなか想像できないことだと思います。

すると、どうなるか？ プレミアムとかポイント付与という言い方をしますが、例えば1万円出せば1万3千円分お買い物ができる、1,000円分買い物すれば何円分かキャッシュバックされるなどといった、いわゆる「釣り餌」を用意して、参加人数を増やすことになるのだと思います。

最近ではマイナンバーカードを作ると5,000円分のポイントがもらえますなどというキャン

ペーンを政府もやっていますが、「ICHICO」で同様のことをした場合、そのプレミアム分やポイント付与も市の持ち出しです。しかも、数億円から10数億円が投入されてしまう勘定になりますし、こうした支出が数年間継続してしまうかもしれません…。

もちろん、この「ICHICO」というキャッシュレス決済のことを知っていて、スマホを使いこなせる人にはメリットがあるから「いい政策だ！」と仰る人もいるかもしれませんが、ご高齢の方やスマホに縁遠い方々にはほとんど無関係な話だと思いますので、この政策で得する人と、全く恩恵に与ることが出来ない人が真っ二つに分断されてしまいます。多くの人にその恩恵が行き渡るものではなく、ごく一部の人に限られてしまう訳ですから、私はここに多額の税金を投じることには慎重でありたいと思っております。

もう1つ。これも皆さんご存じない方も多いかと思いますが、去年の12月定例会で田中市長は、「市役所の7階に食堂を作る」、「企業と連携して健康に良いメニューを提供する」との触れ込みで、何億円もかけて市役所の7階で食堂経営をはじめようとしていました。田中市長は選挙公約で「健康寿命日本一」を掲げていますので、なんとしてもこの分野で実績を作り上げたいのだと思います。ただ、市役所が7階で食堂経営を始めたからと言って、開庁日は平日昼間のみですし、夜の営業はもちろんなく、お酒の提供もありません。ゴールデンウィークも年末年始もお休みですから、採算性が難しいことは言うまでもありません。

メニューは「630円の定食を提供する」との触れ込みでしたが、平日の昼間限定の食堂にわざわざ630円の定食を食べに行く人がどれだけいるのでしょうか？そして、この食堂を作るために2,200万円も設計費用を投じて、1億数千万円を要する工事をするつもりだったようですが、食堂運営はきっと赤字になるでしょうから、工事費を回収できないばかりか、運営費も合わせるとあつという間に数億円もお金を無駄にすることになってしまいます…。

この問題については、岩井清郎さんというベテラン議員の方が中心となって、私もお手伝いとして駆けずり回って、最終的には予算案を修正するという形でなんとか未然に食い止めましたが、いつまたこういうことが起こらないとも限りません。

もちろん、経済成長している時代なら、市長がそれなりのお金を使ってやりたいことをやることを容認しても良いかも知れません。ただ、今はどういう状況でしょうか？

燃料や原材料は高騰する、それに伴って電気料金、ガス料金が値上げとなる。JRなど鉄道も値上げしました。卵をはじめとする食料品が値上げとなる。水だって昔ならただで飲めましたが、今は水も買わなければならない…。ゴミを捨てるのもタダではなく、ゴミ袋だって買わなければならない…。

そうじゃなくても、消費税はいつの間にか10%になっている訳で、給料や年金がその分上がっている訳ではないですから、生活者の所得は実質的には減っていますし、高齢者の医療費の窓口負担が増加したり、家計の負担は増すばかりであって、「市に無駄遣いできるぐらい余裕があるのであれば、私たちの負担を減らして欲しい！」というのが、市民の本音なのではないかと私は受け止めております。

またそれとは別に、この市川市では「水害をなくしていかなければならない」という課題がある訳ですから、本来であれば台風が来てもゲリラ豪雨が来ても困ることのないよう、ここにこそ多額の予算を充てて、雨水排水設備の整備を進めていくべきです。

さらに言えば、私の家の近くには宮田小学校という小学校があって、これが建替えになるということで何年も前から準備が進められてきた経緯があった訳ですが、田中市長は他の分野にお金を使うことを優先して、宮田小学校の建て替えは3年程度先送りする方針を示されました。

これだけを聞けば、「宮田小学校の建て替えなんて自分には関係ない!」と思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、話は宮田小学校に限定される訳ではありません。宮田小学校以降に建て替えが計画されているすべての学校の建て替え計画も同様に3年程度先送りされる訳ですから、皆さんの避難所に指定されている近隣の小中学校の建て替えが遅れ、皆さまにも直接的な影響が生じる可能性も否定できません。

というのも、市内に避難所は約80か所存在し、その多くを小中学校の体育館が占めている訳ですが、こうした市内小中学校のほとんどの体育館には冷暖房設備は完備されておらず、“夏は暑すぎて避難できない”、“冬は寒すぎて避難できない”状況です。こうした小中学校の体育館への冷暖房設備は、建て替えの際に整備されることが効率的ですから、こうした工事も少なくとも3年程度先送りになるということです。

やはり予算には限りがある訳ですから、この他にも先送りされたり、削られるところがあるかも知れない訳で、一聞するとご自身に関係のないような話であったとしても、もしかしたら別の形で皆さまの身に降りかかってくるかも知れない…といったリスクが存在することに注意が必要です。

そう考えますと、市議会議員の仕事は、市長と仲良くしていれば良い、市長のやることに全面的に賛成していれば良いという話ではなくて、政策や予算配分の優先順位が間違っているようであれば、「市長、優先順位が間違っていますよ!」と指摘することは必要ですし、もし仮に無駄遣いがあれば、「市長、無駄遣いは正してください!」と声を挙げることも必要だと思います。

理想の政治家像を目指して!

私は子どもの頃から政治家を志していて、16歳、高校1年生の時には市川学園の制服を着たまま、かのう勝さんの初めての衆議院議員選挙を手伝っておりました。その後大学生になってからも、何人かの政治家の事務所に入出入りしながら、たくさんの人物を見て参りました。政治家の事務所にはたくさんの地方議員の方も出入りしていましたが、

- あの議員はすぐ動かない、選挙の時だけ頭は下げるけど全然働かない…。
- あの議員はちゃんと動いてくれるけど、お金を要求する。後援会に入れさせられて、パーティー券購入を頼まれる。
- あの政党に頼むと、宗教に勧誘される、新聞購読を求められる。
- あの人は自分より強い人にはモノが言えない…。

そんな話をたくさん聞いて参りました。

私は高校生だったり、大学生だったり、まだまだ社会の現実もよく知らないまま理想に燃えている時期でしたので、

- 誰か1人ぐらいちゃんと働いてくれる議員はいないのか!
- 困ったことがあったら、すぐ駆け付けてくれて、身体を張って頑張ってくれる議員がいらないのか!
- 不正や無駄遣いがあったら、ひるまずに勇気を持って追及できる議員がいらないのか!

不甲斐ない政治家の話を知るとそんな感じで憤慨し、もし自分が政治家になったら、「この人なら信頼できる!」「頼りになる!」「越川さんがいてくれてよかった!」。そんな風に言われるような政治家になりたい!と、ずっとずっとそんなことばかり考えて、情熱の火を灯していました。

私にとって、政治家になることが子ども頃からの夢でしたので、今年で50歳を迎える私の半生は「理想の政治家像を追い求める人生」であり、現実を見据えて「上手く立ち回る」などといった感覚はほとんどございません。

反撃や数々の嫌がらせを経験しましたが、私は今後も損得を考慮することなく、理想や正論で突き進んでしまうのだと思いますが、孤独に戦っていた以前の私と違って、12年の歳月を経てたくさんの方々に見守られるようになった今では、それほど道を踏み外すことなく議員活動を継続していくことができるのではないかと、自分でも「今後の自分」に期待しているところです。

締めくくり

私は12年前の最初の選挙では、3,354票で11位での当選でした。8年前の2回目の選挙では、「4,000票以上取って4位以内に入りたい!」と頑張りましたが、4位にはなることはできなかったものの、3,683票で4,000票には届きませんでした。前回4年前の3回目の選挙では、「もう1度4,000票に挑戦して3位以内に入りたい!」と全力で歩きました。その結果、3位にはなることはできましたが、3,906票でやはり4,000票には届きませんでした。

最近では少なからぬ方々から、「いつまで市議会議員を続けるんだ!」「そろそろ県議選に挑戦しなさい!」などといった激励を受けることが多くなりましたが、私としては4,000票を取るまでは市議会を卒業することが出来ません!!

今回の選挙では、まずは市議会を卒業できるような成績を取めた上で、次の4年間で市議会議員として大きく成長した姿をお見せしていきたいと思ひます。

4月22日の活動が終わるまで、いや、それ以降も全力で頑張ることをお約束して、立候補にあたっての私の決意表明を締めくくりたいと思ひます。

長文でしたが、最後までお読みいただきまして、本当にありがとうございました。

令和5年4月16日

越川 まさふみ

追伸

「こっしーちゃんねる」始めました。

<https://youtube.com/@kosshi-1028>